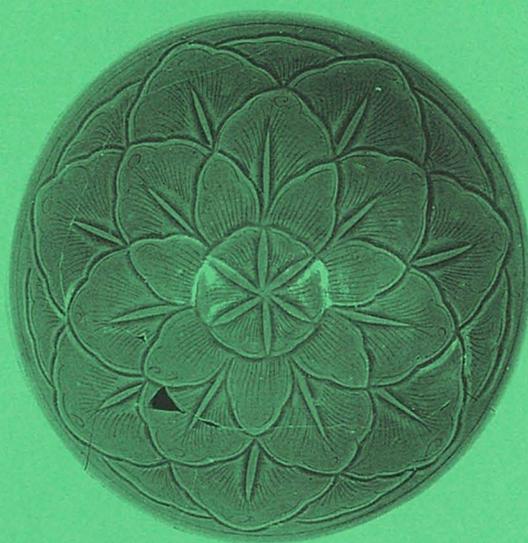


# 福岡市埋蔵文化財センター年報

第 7 号

昭和62(1987)年度



1988年

表紙写真 青磁花文碗（中央区平和台 鴻臚館跡出土）

# 序

当センターは福岡市内の発掘調査の出土品・発掘調査記録を収蔵・保存し公開する施設として、昭和57年2月に開館し、以来6年余を経ました。莫大な量の資料を検索可能な状態に整理収蔵する作業はようやく軌道に乗り、少しずつ目に見える成果があがっております。また講座などの教育普及活動をとおして当センターの仕事に対する市民の理解も深まっております。

この年報第7号では、62年度の活動について報告いたします。今後とも皆様のご支援・ご鞭撻をお願い致します。

昭和63年7月30日

所長 後藤 直

## 目 次

序 .....	1
62年度の活動 .....	2
1 資料の収蔵 .....	2
(1)収蔵方針 .....	2
(2)昭和62年度(1987)の収蔵作業 .....	2
(3)本収蔵の状況 .....	2
2 収蔵資料の検索 .....	4
(1)検索対象項目 .....	4
(2)検索方法 .....	4
(3)検索システムの今後の課題 .....	5
3 保存処理 .....	6
(1)木 器 .....	6
(2)金属器 .....	9
(3)土層剥ぎ取り .....	10
4 教育普及活動 .....	11
(1)展 示 .....	11
(2)講座・講演 .....	11
(3)資料の提供 .....	13
(4)刊行物 .....	15
(5)入館者数 .....	16
(6)博物館学実習 .....	17
5 調査研究 .....	17
図 書 .....	17
昭和62年度予算 .....	18
機構と職員 .....	18
施設と規模 .....	19
福岡市埋蔵文化財センター条例 .....	20
福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則 .....	20
付 録 .....	22
1. 昭和62年度刊行報告書一覧 .....	22
2. 昭和62年度発掘調査一覧 .....	23

## 62年度の活動

### 1. 資料の収蔵

#### (1) 収蔵方針

本センターにおける資料の収蔵は、福岡市教育委員会が調査した埋蔵文化財資料および市内に存在する埋蔵文化財に関する資料を対象とし、調査研究や貸し出しをはじめとする各種の利用・活用に供しうるように系統的に管理するものとする。

具体的な収蔵方法については、昭和60年度に本センターと埋蔵文化財課が定めた『埋蔵文化財資料の整理・収蔵要項』（『福岡市埋蔵文化財センター年報』第5号所収。以下『要項』と略す）による。

#### (2) 昭和62年度(1987)の収蔵作業

次の三種の作業を行った。

- 既搬入資料(仮収蔵)の『要項』にもとづく整理と本収蔵。
  - 61年度に報告書を刊行した調査のうち、『要項』にもとづく整理の終了した資料の受け入れと本収蔵。
  - 埋蔵文化財課収蔵施設撤去などに伴う、未整理資料の仮収蔵。
- 1) aは15遺跡調査資料について実施した。年度内

に作業が終了したのは12件(表1)、残る3件は次年度に継続する。

2) bは埋蔵文化財課より搬入された12遺跡調査資料について実施した(表2)。

3) cは飯盛地区圃場整備事業関係調査事務所からの搬入・仮収蔵である(表3)。

1)および2)については、報告書からの資料検索が可能であるが、一部の検索カードが未作製に終わった。

#### (3) 本収蔵の状況

『要項』にもとづく資料の本収蔵作業は、実施から2年目を経て、ようやく軌道にのった。

この間、本収蔵作業を行った遺跡資料数(遺跡調査番号に登録した調査件数)は42(表4)。昭和42年(1967)以降、61年(1986)まで市内で行われた調査件数623件のうち、大学や調査団、県教育委員会などが行い、その組織・機関で資料を保管している35件を除く588件の7.1%にあたる。

他の資料については、本センターで仮収蔵するか、埋蔵文化財課の収蔵施設で保管している(61年度末の保管状況は、『福岡市埋蔵文化財センター年報』第6号を参照)。

61年・62年度に本収蔵された資料の内訳数は、表4に示す。なお収納コンテナ欄には、木製品・金属品収納ケースを含んでいない。

表1 既搬入資料のうち整理・本収蔵した資料

※は本数

調査No	遺跡名	報告書No	登録遺物点数	復元発掘点数	コンテナ数	トビソビネット数 <sup>アキ</sup>	モノクロームネガ			カラーポジ			図面	
							35mm <sup>※</sup>	6×7cm	4×5 <sup>1/2</sup>	35mm	6×7cm	4×5 <sup>1/2</sup>	遺構	遺物
7502	広石古墳群	041	558	—	63	4	48	684	—	740	127	—	78	101
7605	福岡城跡 2次	101	2,037	—	610	1	141	2,100	16	—	—	—	106	324
7701	久保園遺跡	099	346	—	22	2	14	1,791	—	—	—	—	56	42
7903	周船寺遺跡 1次	60	685	—	27	4	27	107	—	140	—	—	22	13
7820	干隈古墳群 1次	1,029	195	—	9	1	36	—	—	495	—	—	39	14

8032	藤崎A遺跡 4次(第7地点)	080	20	—	2	—	6	48	2	46	6	2	5	3
8033	藤崎A遺跡 5次(第8地点)	080	4	—	2	—	3	10	—	24	—	—	2	3
8226	那珂君休遺跡 2次	106	139	—	6	—	15	124	—	145	29	—	74	15
8321	藤崎A遺跡 9次	137	55	—	15	—	40	81	—	—	22	—	45	33
8422	有田遺跡 95次	139	132	—	10	1	6	51	—	—	—	—	36	6
8424	有田遺跡 97次	139	4	—	1	—	2	13	—	—	—	—	13	1
8428	原遺跡 9次	140	629	—	41	1	37	521	—	253	50	—	102	35

表2 埋蔵文化財課より搬入・本収蔵した資料一覧

※は本数、☆は未収蔵

調査 No	遺 跡 名	報告 書No	登録 遺物 点数	復元 葬棺 点数	コンテ ナ 数	トレン ドレ ット 数 ツキ	モノクロームネガ			カラーポジ			図 面	
							35mm ※	6×7cm	4×5寸	35mm	6×7cm	4×5寸	遺構	遺物
7833	博多遺跡 祇園町工区	156	1,375	—	170	32	☆	514	—	☆	—	—	52	204
8144	田村遺跡 3次(第3地点)	167	671	—	29	—	16	368	—	350	14	—	166	77
8145	田村遺跡 3次(第4地点)	167	582	—	28	—	4	135	—	83	11	—	41	52
8146	田村遺跡 3次(第5地点)	167	440	—	24	—	8	117	—	102	1	—	55	43
8502	井相田C遺跡 1次	152	1,691	—	80	5	37	521	—	253	50	—	305	134
8503	比恵遺跡 10次	145	597	—	147	2	42	180	—	400	—	—	47	128
8504	比恵遺跡 10次	145	37	—	8	—	9	24	—	42	—	—	4	21
8530	那珂遺跡 7次	162	632	—	57	2	31	638	—	280	—	—	9	88
8532	下山門乙女田遺跡	170	529	—	30	2	32	365	—	256	10	—	55	96
8541	堤ヶ浦古墳群	151	1,665	—	80	5	72	1,085	—	529	36	—	111	284
8606	博多遺跡 31次	150	545	—	66	6	11	20	15	117	—	—	18	19
8609	那珂遺跡 8次	153	96	—	57	3	15	307	—	232	—	16	72	71

表3 埋蔵文化財課収蔵施設撤去などに伴う搬入、仮収蔵資料一覧

No	調査 番号	遺 跡 名	コンテ ナ 数	復元 葬棺 数	報告 書No	No	調査 番号	遺 跡 名	コンテ ナ 数	復元 葬棺 数	報告 書No
1	8335	吉武遺跡4次(圃場整備3次)	953	—	143	5	8522	太田遺跡2次	36	—	—
2	8416	吉武遺跡6次(圃場整備4次)	2,156	—	136	6	8535	吉武遺跡9次(圃場整備6次)	1,335	—	—
3	8426	吉武遺跡7次(野方金武線)	83	136	—	計					
4	8518	吉武遺跡8次(圃場整備5次)	14	—	—						
									4,577	136	—

表4 埋蔵文化財センター本収蔵資料数一覧

※は本数

年度	種 類	遺跡数	登録遺物 点・件数	復元済 葬棺数	収蔵コン テナ数	収蔵ソ トキャ ビ ネット 数	写 真 枚 数			スライド枚数			実測図枚数	
							35mm ※	6×7cm	4×5寸	35mm	6×7cm	4×5寸	遺構	遺物
1986	既収蔵資料	14	4,475	—	306	7	341	1,691	154	3,410	442	96	560	485
	埋文課搬入資料	4	3,579	—	749	—	57	1,336	1	1,334	128	—	352	239
	年 度 合 計	18	8,054	—	1,055	7	398	3,027	155	4,744	570	96	912	623
1987	既収蔵資料	12	4,804	—	808	14	365	5,184	18	1,590	184	2	578	590
	埋文課搬入資料	12	8,860	—	766	57	277	4,274	15	2,644	122	16	965	1,217
	年 度 合 計	24	13,664	—	1,584	71	642	9,458	33	4,234	306	18	1,543	1,807
合 計		42	21,708	—	2,639	78	1,040	12,485	187	8,978	876	114	2,455	2,430

## 2. 収蔵資料の検索

### (1) 検索対象項目

#### a) 本収蔵資料

〈調査資料台帳〉により次の項目が検索できる。

◎遺物：出土遺構、地区、層位、種類、器種、年代、実測図番号、写真番号、報告書挿図番号。図版番号、収納コンテナ番号、コンテナ収納棚番号。

◎実測図：図面内容、縮尺、図面サイズ、実測者、実測年月日。

◎モノクローム・ネガ：撮影内容、方向、撮影者、撮影日付。

◎カラー・スライド：同上

〈報告書掲載資料検索カード〉により、報告書の挿図と写真図版から、次の項目を検索できる。

◎遺物：収納コンテナ番号、コンテナ収納棚、実測図番号、写真番号。

◎遺構：写真(モノクローム、カラー・スライド)

#### b) 仮収蔵資料

〈遺物仮収蔵台帳〉および〈記録類収蔵台帳〉から、調査番号を与えた調査資料単位に、次の項目を検索できる。

◎遺物：収納コンテナ数、コンテナ収納棚

◎実測図：収納ケース数、ケース収納棚

◎モノクローム・ネガ：収納アルバム数、アルバム収納棚

◎カラー・スライド：同上

ここでは収納ケースの数量と、どの棚に配架しているかがわかるだけで、特定の資料を探す場合、相当な時間が必要となる。

### (2) 検索方法

ビジブル・レコーダーに収納した〈記録類収納棚カード〉・〈報告書掲載資料検索カード〉および個別の〈調査資料台帳〉を用いる。

a) 記録類収納棚カード(ビジブル・レコーダー収納) 本収蔵・仮収蔵を問わず、本センターに保管されている記録類の収納棚を検索するもの。

ここでいう記録類は次の種類である(括弧内は収納ケース)。

◎モノクローム・ネガ(アルバム)

◎カラー・スライド(アルバム)

◎遺構・遺物実測図(シートファイル)

◎遺物・写真カード(ファイリング・キャビネット)

検索にあたっては遺跡調査番号を用いる。収納棚番号と棚の配置は、『福岡市埋蔵文化財センター年報』第6号に掲載。

b) 報告書掲載資料検索カード(ビジブル・レコーダー収納)

『要項』にもとずき本収蔵が終了した遺跡調査資料について、報告書に掲載した遺物実測図・写真図版番号から検索するもの。

検索カードには、〈目録カード〉と〈資料カード〉の二種がある。

〈目録カード〉は報告書一冊につき一枚、〈資料カード〉の先頭にあり、報告書目録・掲載遺跡名一覧と、記録類収納棚を記している。

報告書からの資料検索は、〈資料カード〉による。このカードから検索できる項目は次のとおり。

◎遺物実測図から：遺物番号、遺物収納コンテナ番号、コンテナ収納棚番号、遺物実測図番号、遺物写真番号。

◎遺構写真から：遺構写真番号、対応するカラー・スライド番号。

◎遺物写真から：遺物写真番号、遺物番号、収納コンテナ番号、コンテナ収納棚番号。

検索を行う場合、該当する報告書番号カードが収納されている棚を引き出す。見出し棚に記入している報告書番号・挿図番号・図版番号によって対象ファイルを開き、必要な資料項目を検索する。記録類の収納棚については、目録カードを参照。

検索可能は報告書は62年度末現在で、33冊(表5)。

表5 〈報告書掲載資料検索カード〉作製済み報告書

報告書 No.	報告書名	刊行年	収録遺跡調査番号	報告書 No.	報告書名	刊行年	収録遺跡調査番号
第19集	大谷古墳群 I	1971	7104	第122集	大谷古墳群 II	1984	7003
24	片江古墳群	1972	7201・7202	132	今宿五郎江遺跡 I	1985	8406
28	相原古墳群	1973	7302	135	板付周辺遺跡調査報告書(11)	1985	8439・8440
40	片江辻遺跡	1976	7506	137	藤崎遺跡 III	1985	8531・8542
41	広石古墳群	1976	7502	140	原遺跡 2	1985	8319・8321
51	四箇周辺遺跡調査報告書(3)	1979	7818	142	丸隈山古墳 II	1985	8428
54	吉武塚原古墳群	1979	7906	145	比恵遺跡第 9・10次調査報告	1986	8412
56	徳永アラタ古墳群	1979	7905	150	博多 X	1986	8503・8504
60	千里シビナ遺跡調査概報	1979	7903	151	堤ヶ浦古墳群発掘調査報告書	1986	8606
67	早苗田古墳群 D 群 10号墳	1980	7946	152	井相田 C 遺跡 I	1986	8541
80	藤崎遺跡	1981	8018・8032	153	那珂遺跡—那珂遺跡群第8次調査の報告—	1986	8502
88	千里シビナ遺跡	1981	8033	156	高速鉄道関係埋蔵文化財調査報告 IV 博多(3)	1986	8609
91	久保園遺跡	1982	7701	162	公民館建設関係埋蔵文化財調査報告	1986	7833
101	高速鉄道関係埋蔵文化財調査報告 III—福岡城址—	1982	7605	167	田村遺跡 III	1986	8530
104	田村遺跡	1983	8033・8034	170	下山門乙女田遺跡	1986	8144・8145
106	那珂君休遺跡 II	1983	8035	1029	千隈熊添古墳	1985	8146
107	麦野下古賀遺跡	1983	8226				8532
							7820

## c) 調査資料台帳

調査資料台帳は、個別の遺跡ごとに作成し、ルーブリーフノートに綴じられている。

台帳には次の11種がある。

(1)遺構台帳

(2)遺構実測図台帳

(3)遺物台帳

(4)遺物実測図台帳

(5)35mmモノクローム写真台帳

(6)6×7cmモノクローム写真台帳

## (3) 検索システムの今後の課題

地方自治体が実施する埋蔵文化財調査資料は、学術的性格をもつと同時に行政資料として一般に公開されるべきである。そのための情報提供システムと資料検索システムの開発が必須の課題となっている。

上に述べた検索システムは、本センターで本収蔵作業をすすめる過程で案出されたいわば試行的なシステムにすぎず、多様な要求に対処できるとはいえない。

たしかに本収蔵資料についていえば、検索カードを利用して遺物や実測図、写真などを直ちに取り出すことができる。しかし一つの遺構から出土した遺物の全

(7)4×5 1/2モノクローム写真台帳

(8)6×7cmカラーズライド台帳

(9)4×5 1/2カラーズライド台帳

(10)35mmカラーズライド台帳

(11)コンテナ収納台帳

これら台帳は報告書に掲載されている資料のほか、調査・整理時に作成された全資料を登録するもの。したがって特定資料の検索には不向きである。

てを知ろうとする場合には、遺物台帳から一点一点を抜き出す作業をしなければならない。

また市内で調査した壙棺総数や時期別比率、あるいは類似資料などを求めようとするような要求には何ら対処できないのが現実である。

このような要求に答えるには、もはやコンピュータなどの情報処理機器の導入が不可欠と思われる。その場合、収蔵資料管理情報ばかりでなく、調査に関する行政文書類、遺跡分布地図、地名表などを含めてトータルな文化財情報システムの構築を目指すべきである。

### 3. 保存処理

#### (1) 木器

今年度は博多区比恵遺跡群(7・9・10次)、博多遺跡群(26次)、那珂君休遺跡(3次)、早良区田村遺跡(3次)、西区拾六町ツイジ遺跡(1次)、下山門乙女田遺跡、羽根戸原C遺跡(2次)出土の148点を保存処理した。このうち80点については国庫補助を受け、そのなかの20点は財団法人元興寺文化財研究所に処理を委託した。残りは当センターで処理した(表6参照)。

処理方法はPEG(ポリエチレングリコール)4000の含浸によったが、元興寺文化財研究所委託のA-0232・0233の2点はアルコール・キシレン法を用いた。当センターでは下記の工程で処理を行った。

1) 事前調査……木器の選定(報告済または整理済の木器をなるべく遺跡ごとに一括して処理)。現物、写真、実測図のチェック。実測図不備なものは新たに作製。また処理木器すべてについて処理前写真を撮影(6×7モノクロフィルム使用)。さらに木器1点1点の保存処理カードを作製。

2) 含浸準備……木器の洗浄(泥・砂などを除去)。ラベルの作製(注記した上質紙をラミネートフィルムで固定)。不織布で木器を梱包。含浸槽へ漬け込む(網棚、メッシュコンテナを利用)。

3) PEG含浸槽の始動・PEGの投入……濃度20%から開始し徐々に濃度を上げる。最終的に100%とする。この間1日に20分程度ポンプを動かし、液の濃度の均一化をはかる。

4) PEG含浸槽の停止・木器の取り上げ……温水による洗浄。乾燥(メッシュコンテナに入れ、自然乾燥)。

5) 表面処理……乾燥後、黒色化した表面をトリクロールエチレン、メチルアルコールで脱色。

6) 接合・復元……エポキシ系接着剤を用い接合。補填にはマイクロバルーンを使用。

7) 事後調査……処理後の写真撮影(6×7モノクロフィルム使用)。保存処理カードに処理後の観察を記載。

8) 収蔵……1点1点に注記したラベルを付け、メッシュコンテナを用いて特別収蔵庫(空調完備)に収納。

以上のように昭和62年度の木器の保存処理は終了した。今回は一昨年度みられた木器取り上げ後の「割れ」は認められなかった。今回の処理で問題を残したのは、処理番号C-0501の拾六町ツイジ遺跡出土の鼠返しであった。これは反りを持った円形材の中央に円孔を穿ったものである。処理前は全体に裂けが入り、本体はスポンジ状となっていた。このため、反りに合わせてスポンジで台を作り、この上に木器を置き、不織布で梱包して網棚の一番上に置いた。処理後梱包を解いてみると、元の反りは残らず、全体に歪みが生じていた。材質的に問題があったのか、それとも梱包材に問題があったのか検討を要する。

今年度新たに含浸槽が1基増設された。これは槽の内法が幅60cm、長さ200cm、深さ90cmの規模で、大型の木器の処理に威力を発揮するものと考えられる。今年度はとりあえず、慣らしの意味で小型の製品を含浸している。

表6 62年度保存処理実施木器一覧

#### (1) 元興寺文化財研究所委託処理木器(補助対象)

処理番号	遺跡名	器種	時代	報告書	挿図番号
A-0216	下山門乙女田	二又鋏	古墳	170集	Fig.41-3
0217	下山門乙女田	二又鋏	古墳	170集	Fig.41-4
0218	下山門乙女田	平鋤	室町	170集	Fig.45-12
0219	下山門乙女田	平鋏	室町	170集	Fig.49-20
A-0220	下山門乙女田	ヘラ?	室町	170集	Fig.50-21
0221	下山門乙女田	下駄	室町	170集	Fig.52-23
0222	下山門乙女田	平鋤	室町	170集	Fig.46-14
0223	下山門乙女田	平鋤	室町	170集	Fig.46-13
0224	下山門乙女田	平鋏	室町	170集	Fig.48-18

処理番号	遺跡名	器種	時代	報告書	挿図番号
A-0225	下山門乙女田	鋤柄	室町	170集	Fig.48-17
0226	下山門乙女田	鋤柄	室町	170集	Fig.48-16
0227	比恵7次	容器	弥生	—	—
0228	比恵9次	二又鍬	弥生	145集	図51-66
0229	比恵9次	平鍬	弥生	145集	図47-72
0230	比恵9次	砧	弥生	145集	図51-81
0231	比恵9次	柄	古墳	145集	図93-135
0232	比恵10次	曲物	平安	145集	図111-32
0233	比恵10次	曲物	平安	145集	図111-33
0234	拾六町ツイジ1次	柄	—	92集	第57図317
0235	拾六町ツイジ1次	柄	古墳	92集	第57図318

処理番号	遺跡名	器種	時代	報告書	挿図番号
B-0205	那珂君休3次	杵	弥生	163集	Fig.154-W78
0206	那珂君休3次	槌	弥生	163集	Fig.167-W96
0207	那珂君休3次	鋤	弥生	163集	Fig.138-W66
0208	比恵10次	平鍬	弥生	145集	図109-13
0209	比恵9次	ナスビ形木製	弥生	145集	図42-29
0210	比恵9次	品	弥生	145集	図42-30
0211	比恵9次	杵	弥生	145集	図42-11
0212	比恵9次	柄未製品	弥生	145集	図42-34
0213	比恵9次	三又鍬	弥生	145集	図51-69
0214	比恵9次	三又鍬	弥生	145集	図47-73
0215	比恵9次	槌	弥生	145集	図47-75
0216	比恵9次	平鋤	弥生	145集	図47-79
0217	比恵9次	三又鍬?	弥生	145集	図64-127
0218	比恵9次	鍬	弥生	145集	図33-128
0219	比恵9次	三又鍬	弥生	145集	図72-131
0220	比恵9次	クサビ?	弥生	145集	図29-138
0221	比恵9次	杓子?	弥生	145集	図20-139
0222	比恵9次	容器	弥生	145集	図29-195
0223	比恵9次	漆塗製品	弥生	145集	図29-196
0224	比恵9次	クサビ?	弥生	145集	図29-196
0225	比恵9次	斧柄	弥生	145集	図38-203
0226	比恵9次	火鑢白	弥生	145集	図51-206
0227	拾六町ツイジ1次	板材	弥生	92集	第30図262
0228	拾六町ツイジ1次	建築材	弥生	92集	第36図271
0229	拾六町ツイジ1次	板材	弥生	92集	第36図271
0230	拾六町ツイジ1次	杖状板材	弥生	92集	第37図227
0231	拾六町ツイジ1次	梯子	弥生	92集	第37図279
0232	拾六町ツイジ1次	建築材	古墳	92集	第43図286
0233	拾六町ツイジ1次	建築材	弥生	92集	第43図289
0234	拾六町ツイジ1次	杵	古墳	92集	第46図290
0235	拾六町ツイジ1次	棒状製品	古墳	92集	第56図316
0236	拾六町ツイジ1次	鍬	—	92集	第66図351
0237	拾六町ツイジ1次	有孔板材	古墳	92集	第67図357
0238	拾六町ツイジ1次	建築材	古墳	92集	第74図359
0239	拾六町ツイジ1次	建築材	古墳	92集	第75図367
0240	拾六町ツイジ1次	柄	古墳	92集	第76図374

## (2) 埋蔵文化財センター処理木器(補助対象)

処理番号	遺跡名	器種	時代	報告書	挿図番号
B-0181	那珂君休3次	四又鍬	弥生	163集	Fig.96-W25
0182	那珂君休3次	容器?	弥生	163集	Fig.163-W92
0183	那珂君休3次	槌	弥生	163集	Fig.177-W103
0184	那珂君休3次	建築材	弥生	163集	Fig.84-W12
0185	那珂君休3次	槌	弥生	163集	Fig.176-W101
0186	那珂君休3次	槌	弥生	163集	Fig.169-W98
0187	那珂君休3次	槌	弥生	163集	Fig.154-W79
0188	那珂君休3次	三又鍬	弥生	163集	Fig.112-W40
0189	那珂君休3次	槌	弥生	163集	Fig.157-W80
0190	那珂君休3次	脚付槽	弥生	163集	Fig.198-W125
0191	那珂君休3次	脚付槽	弥生	163集	Fig.160-W82
0192	那珂君休3次	槽	弥生	163集	Fig.161-W83
0193	那珂君休3次	槽	弥生	163集	Fig.161-W84
0194	那珂君休3次	二又鍬	弥生	163集	Fig.125-W52
0195	那珂君休3次	三又鍬	弥生	163集	Fig.92-W20
0196	那珂君休3次	三又鍬	弥生	163集	Fig.104-W34
0197	那珂君休3次	二又鍬	弥生	163集	Fig.125-W51
0198	那珂君休3次	加工板材	弥生	163集	Fig.29-W100
0199	那珂君休3次	叩き板?	弥生	163集	Fig.148-W75
0200	那珂君休3次	加工木	弥生	163集	—
0201	那珂君休3次	網錘?	弥生	163集	Fig.185-W113
0202	那珂君休3次	杵	弥生	163集	Fig.151-W76
0203	那珂君休3次	鋤	弥生	163集	Fig.142-W68
0204	那珂君休3次	平鍬	弥生	163集	Fig.75-W7

## (3) 埋蔵文化財センター処理木器

処理番号	遺跡名	器種	時代	報告書	挿図番号
C-0465	羽根戸原C2次	長柄鋤未製品	弥生	134集	Fig.41-1
0466	羽根戸原C2次	漆器椀	奈良	134集	Fig.50-2
0467	羽根戸原C2次	容器	奈良	134集	Fig.50-3
0468	羽根戸原C2次	槽	奈良	134集	Fig.50-4F
0469	羽根戸原C2次	杓子形木器	奈良	134集	Fig.50-5
0470	羽根戸原C2次	刀子形木器	奈良	134集	Fig.50-6
0471	羽根戸原C2次	槌の子	奈良	134集	Fig.50-7
0472	羽根戸原C2次	槌の子	奈良	134集	Fig.50-8
0473	羽根戸原C2次	木筒	奈良	134集	Fig.50-9
0474	羽根戸原C2次	平鍬	奈良	134集	Fig.59-10
0475	羽根戸原C2次	踏み鍬	奈良	134集	Fig.59-11
0476	羽根戸原C2次	長柄鋤	奈良	134集	Fig.59-12
0477	羽根戸原C2次	鎌柄	奈良	134集	Fig.59-13
0478	羽根戸原C2次	杓子形木器	奈良	134集	Fig.59-14
0479	羽根戸原C2次	鉢形容器	奈良	134集	Fig.59-15
0480	羽根戸原C2次	下駄	奈良	134集	Fig.59-16
0481	羽根戸原C2次	大足	奈良	134集	Fig.59-17
0482	比恵7次	柄?	弥生	—	—
0483	比恵7次	建築材	弥生	—	—
0484	比恵7次	建築材	弥生	—	—
0485	比恵7次	建築材	弥生	—	—
0486	比恵7次	杵	弥生	—	—
0487	比恵7次	有孔板材	弥生	—	—
0488	比恵7次	鍬	弥生	—	—
0489	比恵7次	カケヤ?	弥生	—	—
0490	比恵7次	鍬	弥生	—	—
0491	比恵7次	槽	弥生	—	—
0492	比恵7次	戈形木器	弥生	—	—
0493	比恵7次	盤	弥生	—	—
0494	比恵7次	容器	弥生	—	—
0495	比恵7次	柄	弥生	—	—
0496	比恵7次	クサビ?	弥生	—	—
0497	比恵7次	加工材	弥生	—	—
0498	比恵7次	柄	弥生	—	—
0499	拾六町ツイジ1次	建築材	弥生	92集	第37図280
0500	拾六町ツイジ1次	建築材	古墳	92集	第43図292
0501	拾六町ツイジ1次	鼠返し	古墳	92集	第74図362
C-0502	拾六町ツイジ1次	有孔板材	—	92集	—
0503	拾六町ツイジ1次	加工木	古墳	92集	—
0504	拾六町ツイジ1次	加工板	—	92集	—
0505	拾六町ツイジ1次	加工木	—	92集	—
0506	拾六町ツイジ1次	建築材	—	92集	—
0507	拾六町ツイジ1次	加工板材	古墳	92集	—
0508	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図79
0509	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図84・85
0510	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図77
0511	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図76
0512	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図82
0513	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図87
0514	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図80
0515	田村3次	板材	弥生	167集	第27図88
0516	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図81
0517	田村3次	板材	弥生	167集	第27図90
0518	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図86
0519	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図78
0520	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第27図83
0521	田村3次	板材	弥生	167集	第27図91
0522	田村3次	鍬	弥生	167集	第53図343
0523	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第53図342
0524	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第53図344/5
0525	田村3次	二又鍬	弥生	167集	第53図341
0526	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第78図528
0527	田村3次	槌	弥生	167集	第82図569
0528	田村3次	槌?	弥生	167集	第82図570
0529	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第82図568
0530	田村3次	三又鍬	弥生	167集	第32図658
0531	田村3次	板材	弥生	167集	第27図89
0532	博多26次	木棺一式	鎌倉	167集	Fig.33

## (2) 金属器

金属器（鉄・銅製品）の本格的な保存処理は昨年度から開始し、本年度も引き続き行った。処理した遺物は鉄製品256点、銅製品595点である。銅製品が多いのは博多遺跡群出土の輸入銅銭の処理が多かったことによる（表7・8参照）。

処理の基本的工程は以下のとおりであるが、遺物の遺存状態によってその方法を変えた。場合によってはクリーニング、洗浄、錆落しの段階にとどめているものもある。

### 1) 鉄製品

- ①事前調査……一点一点の遺物について報告書・実測図・写真などと対照し、処理カードを作成。また処理前の状態を写真撮影。
- ②クリーニング……土・砂などを大まかに除去。温水による洗浄とアルコールによる脱水。遺物によっては超音波洗浄。
- ③脱塩……水酸化リチウム・メタノール溶液に2～3ヵ月浸漬。
- ④洗浄……メタノールを使用。
- ⑤乾燥……自然乾燥ののち強制乾燥。

表7 処理鉄製品一覧

遺 跡 名	器 種	点 数
井尻B遺跡 1次	刀・釘など	9
博多遺跡(築港線1次)	刀子・釘・銭など	14
博多遺跡35次	刀・毛抜きなど	5
宮崎馬出遺跡	釘	28
博多遺跡(祇園町出入口5-B)	棺飾り金具・釘	3
諸岡遺跡17次	鎌・矛・刀子	5
博多遺跡(呉服町出入口)	刀子・釘	21
大谷遺跡	斧	1
比恵遺跡6次	斧	1
高畑遺跡10次	斧	1
西新町遺跡4次	矛	1
吉塚遺跡1次	刀子・鎌など	6
金武古墳群2次 乙石C群	馬具	18
金武古墳群4次 吉武L群	馬具・刀・鎌	140
那珂遺跡10次	鎌	3
合 計		256

- ⑥錆落し……実体顕微鏡・エアブラシ、グラインダー、ニッパ、カッター、針などを利用。
- ⑦減圧含浸……アクリル系樹脂(パラロイドNAD10)・ナフサ溶液の含浸。
- ⑧乾燥……自然乾燥ののち強制乾燥。
- ⑨ ⑤～⑦の工程を2～3度行う。
- ⑩接合・復元……接着剤としてセルロース系(セメダインC)、エポキシ系(セメダインハイスーパー、アララダイトラピッド)、 $\alpha$ -シアノアクリレート系(ボンドアロンアルファ)、補填剤としてエポキシ系樹脂+マイクロバルーン、エポキシ系(ボンドオール)を使用。
- ⑪事後観察……処理後写真撮影。処理カード記載。
- ⑫収納……チャック付ビニール袋、タッパーにシリカゲルと共に封入。セントラルアレンジャーに遺跡ごとに収納。

### 2) 銅製品

- ①事前調査……鉄製品工程と同じ。
- ②クリーニング……鉄製品工程と同じ。
- ③防錆……ベンゾトリアゾール・メタノール溶液。
- ④乾燥……自然乾燥。
- ⑤錆落し……鉄製品工程と同じ。
- ⑥減圧・浸漬含浸……アクリル系樹脂(パラロイドB72)・キシレン・アセトン溶液を減圧あるいは浸漬含浸。

表8 処理銅製品一覧

遺 跡 名	器 種	点 数
博多遺跡(築港線1次)	銭・鈴・弁など	388
博多遺跡1次	鏡・銭など	9
博多遺跡8次	鏡・銭など	7
博多遺跡14次	銭・鈴	5
博多遺跡35次	銭・毛抜など	165
博多遺跡(呉服町入口)	仏像・銭など	5
比恵遺跡17次	鎌	1
吉塚遺跡1次	鎌・銭	6
宮崎馬出遺跡	銭など	35
長峰遺跡	懸仏	1
鴻臚館	銭	1
合 計		623

- ⑦ ⑤⑥の工程を2～3度行う。
- ⑧接合・復元……鉄製品工程と同じ。
- ⑨事後観察……鉄製品工程と同じ。
- ⑩収納……鉄製品工程と同じ。

金属器はその材質、埋蔵環境、出土後の保管状況によって様々な劣化状態を呈し、短期間のうちに錆のため崩壊してしまう場合も少なくない。出土後ただちに保存処理を開始することが必要な所以である。

本市では20年近くにわたる発掘調査で、弥生時代から近世にいたる多量の金属器が出土している。その大

### (3) 土層剥ぎ取り

1987年3月、博多遺跡群22次調査で、中世から現代にかけての良好な土層断面が検出された。埋蔵文化財課、博物館準備室および当センターの協議の結果、これを剥ぎ取り保存することになった。奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター、九州歴史資料館などの教示をえて、5月11、12日の2日にわたって土層の剥ぎ取りを行った。

剥ぎ取りの対象土層面は幅約5m、深さ約4mの約20㎡。土混じりの砂を主とし(基盤は砂)、その中には礫・土器・磁器・人骨・貝類などを多量に混じっていた。剥ぎ取りに先立って、従来当センターで使用していたエポキシ系合成樹脂(トマックNR-51)で試験を行い、一応の成功をみたため、今回もこれを剥ぎ取り剤として用いることにした。

5月11日は曇りのち雨の天候であったが、現場の段取りなどもあり、剥ぎ取りを実施した。傾斜をもたせた剥ぎ取り面に足場を組み、5～6人が横にならび、現地表面から下に向かって樹脂を塗布した。この日、樹脂が乾燥しなかったため、剥ぎ取りは翌12日に行った。剥ぎ取りの工程、使用材料は以下のとおりである。

- 1) 剥ぎ取り面の清掃。
- 2) 足場組立。
- 3) 樹脂(トマックNR-51)を刷毛などにより塗布。

部分が保存処理を経てないだけでなく、整理後不十分な環境下に置かれ、なかには出土時の形態をまったくとどめないものさえある。また一方では、近年来の博多遺跡群などの調査で中世の金属器が多量に出土しており、整理・報告のための処理要請も多い。センターでの本格的な処理は昨年度開始したばかりであり、その体制、技術もまだ十分とはいえない。これらの現状をふまえ今後の処理を考えるとともに、処理方法そのものについても検討を加えていきたい。

土層下部の湿ったところ、土を含まない砂層には、親水性のウレタンプレポリマーを主成分とした(サンプレンWE)・アセトン溶液をスプレーしたあと、樹脂を塗布。

- 4) 樹脂が乾きかけたところで寒冷紗により裏打ち。さらにこの上に樹脂を塗り、寒冷紗を樹脂で狭みこむ。
  - 5) 水準線をいれ、剥ぎ取り。面積が大きいためカッターで6分割する。
  - 6) 補修用に各層の土壌を採取。
  - 7) センターへ搬出。
- 以後、センターで以下の処理を行った。
- 8) 水洗で、転写面の不用な土壌を除去。
  - 9) 自然乾燥。
  - 10) イソシアート系合成樹脂(サンコールSK50)・シンナー溶液を転写面にスプレーし、土層を固定し、濡れ色で層位を明確にする。またエポキシ系接着剤(アラルダイトラピッド)で遺物や礫を接着・固定。貝類、骨などはアクリル系樹脂(パラロイドB72)・キシレン溶液で強化。

この転写資料は博物館の展示に使用される予定になっており、仕上げ整形、パネル貼りなどは業者に委託した。

## 4. 教育普及活動

## (1) 展 示

## 第1展示室

埋蔵文化財および埋蔵文化財保護についての展示。

展示内容

- 1) 文化財と埋蔵文化財
- 2) 発掘調査
  - ①遺跡をみつける
  - ②発掘調査の順序
- 3) 遺跡と遺物の保存
  - ①遺物の保存処理
  - ②遺跡・遺構の保存

## 4) 埋蔵文化財(考古学)の研究

- ①年代をきめる
- ②なにに使ったか
- 5) 最近の発掘調査から  
多々良込田遺跡、福岡城跡、浄泉寺遺跡

## 第2展示室

旧石器時代から江戸時代までの約750点の出土遺物を年代順に並べ、各時代の土器や石器の種類と用途、変遷を示す。

## (2) 講座・講演

下記のように埋蔵文化財に関する講座・講演を行った。

考古学講座は弥生時代の国の形成と鏡の関係をテーマにした。

発掘調査速報シリーズでは、昭和61・62年度の発掘調査と特に成果のあった遺跡について報告した。

考古学の基礎的な講座として考古学教室(土器のはなしⅠ、石器のはなしⅠ)を実施した。

## 1) 考古学講座

回	期 日	題 目	講 師	内 容	受講者数
1	5月24日	倭国と鏡Ⅰ 弥生時代の成立と その社会	橋 口 達 也 福岡県教育委員会	弥生時代のはじまりの状況と弥生時代の社会や文化の変遷について。	76人
2	7月26日	倭国と鏡Ⅱ クニと鏡 —前漢鏡を中心として—	高 倉 洋 彰 九州歴史資料館	前漢鏡を中心として弥生時代前期～中期の社会について。	92
3	9月20日	倭国と鏡Ⅲ 首長層と鏡 —後漢鏡を中心として—	田 崎 博 之 福岡市埋蔵文化財センター	後漢鏡を中心として弥生時代後期の社会や首長層について。	98
4	12月20日	倭国と鏡Ⅳ 前方後円墳成立期の 社会と鏡	柳 田 康 雄 福岡県教育委員会	前方後円墳成立期前後の社会や首長層における鏡の意義について。	102
5	2月7日	倭国と鏡Ⅴ 倭と三角縁神獣鏡	近 藤 喬 一 山口大学教授	古墳成立前後の時代を三角縁神獣鏡からみる。	122

## 2) 発掘調査速報シリーズ

※講師は福岡市教育委員会埋蔵文化財課職員

回	期 日	題 目	講 師	内 容	受講者数
1	4月26日	博多遺跡群 —博多の町割りⅡ—	大 庭 康 時	昭和61年度の発掘調査成果をふまえ、町割りの変遷などを考察。	53人
2	6月21日	早良平野の拠点集落Ⅰ —有田遺跡から—	米 倉 秀 紀	弥生時代初期から中世末期まで早良平野の中心的役割を担った集落について解説。	81
3	8月23日	老司古墳発掘調査	吉 留 秀 敏	墳丘規模の確認と石室の保全を目的とした重要遺跡確認調査について報告。	105

回	期 間	題 目	講 師	内 容	受講者数
4	10月25日	まじないの世界 —井相田遺跡を中心に—	横 山 邦 継 吉 田 扶 希 子	出土した卒塔婆、柿経を考察し、中世社会の人々の信仰や習俗について報告。	人 48
5	11月29日	遺跡から出土する食用遺物 —古代食を探る—	吉 武 学	出土した穀類・木の実類や獣骨・魚骨などから縄文時代や弥生時代の食物を考える。	33
6	3月27日	昭和62年度の発掘調査から —その成果と課題について—	柳 田 純 孝	昭和62年度の発掘調査成果と今後の課題について報告。	55

### 3) 考古学教室

#### ①土器のはなし I

出土した土器を教材とし、また実際に土器をつくり、土器製作の技術や、各時代の土器の種類・形態・そして機能について学ぶ。講師は常松幹雄氏、吉武 学氏（福岡市教育委員会）。受講者数25名。

回	期 日	内 容
1	6月14日	ガイダンス、講義
2	6月28日	道具をつくる（講義・実習）
3	7月5日	土器をつくる（実習）
4	7月19日	
5	8月2日	バスハイク —土器製作方法を学ぶ—
6	8月29日	土器を焼く（実習）
7	9月12日	ま と め

2～3回の実習には陶芸家の指宿正俊氏の指導を得た。第5回のバスハイクは以下のような見学コースで実施した。

福岡市埋蔵文化財センター出発→春日市文化財収蔵庫（企画展）→牛頸窯跡→甘木歴史資料館（企画展）→小石原焼窯元→福岡市埋蔵文化財センター解散

実施にあたっては歴史と自然を守る会、甘木歴史資料館、春日市教育委員会、大野城市教育委員会、大谷女子大学中村浩氏、小石原焼太田窯太田成喜氏（以上バスハイク関係）、自然窯村上誠吉氏、児島絹子氏、松井フユ子氏（以上土器焼成関係）の協力を得た。また、

#### ②石器のはなし I

原始、古代の主要な道具であった石器がどのような機能を持ち、どのように作られたのか、原始、古代の生活環境などをおして学ぶ。講師は杉山常雄氏・小畑弘己氏（福岡市教育委員会）。受講者数25名。

考古学教室終了後、12月5日に再度土器焼成実験を行った。

#### 土器の焼成工程（8月29日）

- 10：00 整 地 5×5m 四方の草・小石を除く。  
 11：00 空焚き あぶりを兼ねる  
 15：30 本焼き 燃料ワラ、ムシロ 所要60分  
 自然鎮火  
 16：30 取り出し

#### 土器の計測と結果

土器は成形後、焼成前（乾燥後）、焼成後に計3回、それぞれの大きさと重さを測り、計測データの集計によって、以下の知見を得た。

- 高さ、幅の計測によって、土器は乾燥時に0～13%（平均5%前後）、焼成時に0～3%収縮していることがわかった。また、この収縮率と、土器の素地土に含まれる砂の割合を対比させると、砂を多く含むものほど、より縮むことがわかった。
- 重さの計測によって、土器は乾燥時に20～80%、焼成時に0～37%軽くなっている。平均値では乾燥時に43%、焼成時に6%の重さが、水分として失われている。
- 3回の焼成実験で焼いた土器は94個体で、うち73個体（78%）が完成した。

回	期 日	内 容
1	10月4日	講 義 石器と石器時代の研究
2	10月18日	講義・実験 石器の製作技術と使用法 —打製石器について—
3	11月1日	講義・実験 石器のひろがりと石材の つながり(製作・使用実験)
4	11月15日	バスハイク 石器時代遺跡と原産地を 訪ねる
5	11月22日	講義・実験 石器の製作技術と使用法 —打製石器について—
6	12月13日	講 義 ま と め

### 3) 小・中学生のための夏休み遺跡めぐり

保護者同伴の小中学生を対象として、下記のとおり実施した。

1. 日 時 昭和62年8月27日(木) 9:00~16:00
2. 見学コース 天神出発~今宿大塚古墳~伊都の里  
(歴史の町)~丸隈山古墳~前原町立

### 4) 遺跡見学バスハイク

一般を対象として、下記のとおり実施した。

1. 日 時 昭和62年11月8日(日) 8:30~17:30
2. 見学コース 福岡市埋蔵文化財センター出発~山  
鹿市立博物館~チブサン古墳~オプ  
サン古墳~鍋田横穴~岩原双子塚古  
墳~江田船山古墳(資料館)~福岡市  
埋蔵文化財センター~天神解散
3. 参加人員 97名(内、小中学生4名)

このバスハイクの実施にあたっては、山鹿市立博物館の協力を得た。

### 5) 考古映画の会

右記のように実施した。フィルムは福岡市視聴覚ライブラリー、埼玉県立博物館、大阪文化財センター、佐賀県立九州陶磁文化館より借用。また「装飾古墳の世界」「神籠石」の2点は福岡県視聴覚ライブラリーにて複製した。

## (3) 資料の提供

### 1) 資料の利用

市民・研究者・博物館・マスコミなどによる収蔵資料およびセンター施設の調査・撮影・写真貸与・印刷物

第5回のバスハイクは以下のような見学コースで実施した。

天神出発→伊万里市腰岳→唐津市古代の森資料館→前原町立伊都歴史資料館→今津→今山遺跡→天神解散。

実施にあたっては北海道埋蔵文化財センター、白滝村教育委員会、飯塚市歴史資料館、榎原考古学研究所、(有)カバシマ、石原一三氏、上原勇氏、(以上石器製作関係)、唐津市教育委員会、前原町教育委員会、歴史と自然を守る会(以上バスハイク関係)の協力を得た。

伊都歴史資料館~天神解散

3. 参加人員 49組137名(大人51名、子供86名)

実施にあたっては、前原町教育委員会、教育開発株式会社協力を得た。

回	開催期間	内 容	時間	観覧者数
1	7月23日 ~7月25日	日本人はどこから来たか 聖徳太子と飛鳥文化 蒙古の来襲	85分	78人
2	8月1日 8月2日 8月4日	縄文土器 古墳からみた大和朝廷 古代埼玉のあけぼの	87分	111人
3	8月28日 ~8月30日	登呂の村 河内平野を掘る 有田焼	72分	53人
4	9月25日 ~9月27日	平安の四季 唐津焼 古代埼玉のあけぼの	94分	47人
5	10月9日 ~10月11日	古墳のつくられたころ 装飾古墳の世界(スライド) 神籠石(スライド)	89分	29人

掲載などの利用。写真(フィルム)貸与または撮影は28件、掲載許可のみは5件、調査研究利用は17件、セン

ター施設の調査件数は21件、一般の利用5件、合計71件である。主な資料利用は下記のとおりである。

許可 No	申請者	資料名	目的	期間
4	中央公論社	拾六町ツイジ遺跡出土の木製儀器カラーポジフィルム	『山人の生業』(日本の古代第10巻)口絵	62年4月21日 ～9月15日
10	教育開発株式会社	縄文時代～弥生時代の土器・石器・木器等のネガフィルム(モノクロ)90本	展示パネル作製	62年5月1日 ～9月25日
11	粕屋町北勢門小学校	赤穂ノ浦遺跡カラーライド20枚 和田部木原遺跡カラーライド7枚	社会科授業資料	62年5月9日 ～5月16日
12	歴史と自然を守る会	比恵遺跡全景写真(モノクロ)2点 吉武K7号墳ライド3点	会誌記念特集	62年5月19日 ～9月19日
18	前原町教育委員会	丸隈山古墳、鋤崎古墳カラーライド99枚	教材使用のために複製	62年6月16日 ～6月27日
27	福岡県高等学校社会科研究会	金隈遺跡甕棺墓群、木棺墓、人骨出土状態のカラーポジ3点	『福岡県の歴史散歩(新版)』	62年8月27日 ～11月21日
33	株式会社 童夢	板付遺跡出土痕跡付着土器、炭化米、住居跡カラーポジ3点	株式会社ぎょうせい発行 『新日本子ども風土記』	62年9月10日 ～10月31日
36 ・ 37 ・ 43 ・ 50	講談社	樋渡遺跡・高木遺跡のカラーポジ2点、吉武高木遺跡・今宿五郎江遺跡・赤穂ノ浦遺跡・板付遺跡・小葎遺跡・諸岡遺跡・八田遺跡・鹿部東遺跡出土品、柏原遺跡出土石器14点、鋤崎古墳石室カラーポジ1点、拾六町ツイジ遺跡出土漆塗り腕輪カラーポジ1点、多々良込田遺跡緑釉陶器	『古代史復元』第3巻、第4巻、第5巻、第6巻、第9巻	撮影日 62年10月25・ 26日、 12月12日 フィルム借用 62年10月12日 ～63年1月31日
38 ・ 51	株式会社 オメガ社	板付遺跡調査風景、出土遺物、炭化米のカラーポジ9点	(株)学習研究社発行「目で見る日本の歴史」特集 『古代人の生活をさぐる』	62年10月17日 ～63年1月31日
40 ・ 66 ・ 68	旺文社	丸隈山古墳石室内部モノクロ写真1点、鋤崎古墳写真7点、実測図2点、丸隈山古墳写真2点、石丸・古川遺跡出土石器、今山遺跡出土石斧、拾六町ツイジ遺跡出土木製鋤、エブリモノクロ紙焼4点	『原像日本』第2巻、第4巻	62年10月20日 ～63年4月17日
41	田村町内連合会	田村遺跡モノクロフィルム8点	『祖先の生活品展示会』 パネル作製	62年10月17日 ～11月4日
46	平凡社	博多27次調査井戸写真(紙焼)2点 博多20次調査井戸複合写真(紙焼)1点	川添昭二編 『よみがえる中世一博多』	62年10月26日 ～63年7月31日
52	雄山閣出版	板付遺跡G-7B調査区全景モノクロ紙焼1点 田村遺跡SX17柵モノクロ紙焼2点	『弥生文化の研究』第2巻	63年1月11日 ～3月23日
55	朝日新聞社出版局	鋤崎古墳石室内部、大石遺跡、樋渡遺跡、吉武高木遺跡のカラーポジ5点	『新・古代史発掘-1983～87年新遺跡カタログ』	63年3月1日 ～4月7日
58	福岡県総務部広報室	比恵遺跡出土炭化米、城ノ原遺跡出土広口甕のカラーポジ2点 今山遺跡石斧及び足跡の石膏型写真撮影	『グラフふくおか』	63年3月15日 ～5月10日
59 ・ 62	VSQビデオステーションキュー	弥生時代の遺物(土器、石器)、板付高畑遺跡遺構全景カラーポジ1枚	ビデオ「歴史に光る人の都」に録画	撮影日 63年3月15日
67	北九州市立考古博物館	博多遺跡出土中国陶磁器19点、多々良込田遺跡出土陶磁器・緑釉陶器13点の写真撮影	特別展「宋・元の陶磁」図録	撮影日 63年3月15日

## 2) 資料の貸出し

博物館などの展示・調査研究に対する収蔵資料の貸出し。貸し出しは24件で、主なものは以下のとおり。

許可 No.	申請者	資料名	目的	期間
1	群馬県立 歴史博物館	藤崎遺跡出土合口甕棺K 50号	常設展示	62年4月1日～ 63年3月31日※
3	福岡商事 株式会社	博多遺跡地下鉄祇園駅出入口1号土壇出土 梅瓶1、四耳壺1、皿4、碗4	常設展示	62年4月1日～ 63年3月31日※
5	焼津市 教育委員会	藤崎遺跡出土合口甕棺K 58号	常設展示	62年4月1日～ 63年3月31日※
6 7 9	株式会社丹照堂	博多遺跡群他出土の陶磁器・土師器52点	「博多町人文化のルーツをしのぶ埋 藏文化展」展示	62年4月1日～ 5月6日
13	札幌学院大学 人文学部	弥生時代前期壺形土器1点 (有田遺跡第4次調査)	常設展示	62年4月1日～ 63年3月31日※
14 20	甘木歴史資料館	今宿五郎江遺跡出土小銅鐸、多々良込田遺 跡出土青銅製鈴1点、諸岡遺跡出土鳥形土 製品1点、博多第28次調査出土青銅製鈴2点	企画展「古代の音色」	62年7月16日～ 9月12日
22	大阪市立博物館	拾六町ツイジ遺跡出土鳥形木製品他4点、 丸隈山古墳出土水鳥形埴輪1点、小笹遺跡 出土動物線刻画の壺1点、赤穂ヶ浦遺跡出 土銅鐸鑄型1点	特別展「動物の考古学」	62年9月10日～ 11月27日
23	日本たばこ産業 九州支社	海の中道遺跡出土製塩土器26点、今宿今山 遺跡出土製塩土器1点、博多遺跡出土塩壺 1点、福岡城三の丸出土塩壺1点、題簽3 点、土器台3点、パネル1点	「夏休み塩の学習教室」	62年8月19日～ 8月26日
24	堺市博物館	板付遺跡・海の中道遺跡・下山門遺跡・今 宿今山遺跡・多々良込田・宮の前遺跡・樋 渡遺跡・桑原飛櫛貝塚・今宿五郎江遺跡・小 笹遺跡出土の漁具合計122点	特別展「漁具の考古学—さかなを とる—」	62年9月16日～ 11月28日
25	榎原 考古学研究所 附属博物館	鋤崎古墳出土位至三公鏡、四獣鏡、珠文鏡、振 文鏡、内行花文鏡、素環頭太刀、蕨手刀子9点	特別展「倭の五王時代の海外交流」	62年10月1日～ 12月3日
34	飯塚市 歴史資料館	鋤崎古墳・丸隈山古墳出土朝顔形鱗付円筒 埴輪各1点、井尻大塚古墳出土円筒埴輪1点	企画展「北部九州の装飾古墳とは にわ展」	62年10月20日～ 12月5日
39	宗像市 教育委員会	博多遺跡出土陶磁器42点、銅銭33点、青銅 製品1点、硯3点、滑石製人形1点、田村 遺跡出土石鍋1点、博多遺跡説明パネル1 点、古地図パネル1点、題簽20個	「宗像市文化財展」	62年10月29日～ 11月4日
48	国立 歴史民俗博物館	鋤崎古墳出土各種鉄器13点	調査研究	62年12月1日～ 63年8月31日
56	甘木歴史資料館	博多遺跡第28次調査出土土型3点	企画展「さまざまなかた(型)— —道具の歴史展その3—」	63年3月1日～ 6月11日

(※印は前年度より継続)

### 3) 図書の閲覧

1階の図書コーナーに一般向けの歴史・考古学関係  
の図書約250冊を揃えており、自由に閲覧できる。

### (4) 刊行物

○『福岡市埋藏文化財センター年報』第6号(61年度)

B 5版40ページ、63年2月29日刊行。  
センター関係者、関係機関に配布。

○『見学のしおり』(展示案内パンフレット)

61年度に全面改訂、B 5版変形4ツ折、8ページ。  
入館者に無料配布。

## (5) 入館者数

## 1. 入館者総数

区 分		4月 (26日)	5月 (27日)	6月 (25日)	7月 (27日)	8月 (26日)	9月 (26日)	10月 (27日)	11月 (25日)	12月 (24日)	1月 (24日)	2月 (24日)	3月 (27日)	合 計 (308日)	比 率 %	
人	個 般	男	291	285	275	263	271	268	261	308	298	237	270	281	3,308	18.1
		女	167	191	171	139	189	143	155	174	132	148	158	166	1,933	10.6
		小 計	458	476	446	402	460	411	416	482	430	385	428	447	5,241	(28.7)
	学 生	小学生	289	246	160	200	262	170	171	187	137	147	166	183	2,318	12.7
		中学生	320	549	1,176	1,568	1,286	1,541	841	367	324	287	250	362	8,871	48.5
		高校生	36	38	38	33	53	39	20	33	23	18	20	28	379	2.1
		大学生	56	81	87	75	91	66	66	73	51	53	78	75	852	4.6
		その他	50	45	47	61	80	53	51	48	40	40	51	52	618	3.4
		小 計	751	959	1,508	1,937	1,772	1,869	1,149	708	575	545	565	700	13,038	(71.3)
		合 計 (a)	1,209	1,435	1,954	2,339	2,232	2,280	1,565	1,190	1,005	930	993	1,147	18,279	100
団 体	一 般 (団体数)	122 (4)	277 (9)	380 (11)	422 (10)	622 (13)	455 (10)	408 (17)	513 (14)	226 (7)	45 (3)	145 (2)	329 (6)	3,944 (106)	49.9	
	小 学 生	184 (2)	124 (2)	963 (7)	751 (6)	29 (1)	288 (2)	510 (4)	568 (4)	97 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3,514 (30)	44.4	
	中 学 生	0 (0)	44 (1)	227 (4)	6 (1)	6 (1)	110 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (1)	406 (9)	5.1	
	高 校 生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0.0	
	大 学 生	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (1)	0 (0)	13 (1)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	0 (0)	45 (3)	0.6	
	合 計 (b)	306 (6)	445 (12)	1,570 (22)	1,179 (17)	657 (15)	875 (14)	918 (21)	1,094 (19)	323 (9)	55 (4)	145 (2)	342 (7)	7,909 (148)	100	
	總 計 (a+b)	1,515	1,880	3,524	3,518	2,889	3,155	2,483	2,284	1,328	985	1,138	1,489	26,188	—	

## 2. 個人入館者年齢区分

合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	比率%
0 ~ 19才	699	895	1,431	1,856	1,694	1,795	1,080	644	522	486	495	630	12,227	66.9
20 ~ 29	140	133	142	143	149	129	139	149	132	136	136	141	1,669	9.1
30 ~ 39	128	152	125	106	122	101	110	137	126	111	120	125	1,463	8.0
40 ~ 49	113	113	117	95	120	105	98	104	112	90	101	116	1,284	7.0
50 ~ 59	83	89	96	70	81	76	63	86	70	58	82	78	932	5.1
60 ~ 69	34	38	28	46	48	47	52	48	31	37	40	42	491	2.7
70 ~ 79	9	13	12	20	16	25	19	19	11	11	18	13	186	1.0
80 ~	3	2	3	3	2	2	4	3	1	1	1	2	27	0.2
計	1,209	1,435	1,954	2,339	2,232	2,280	1,565	1,190	1,005	930	993	1,147	18,279	100

## 3. 個人入館者住所区分

合 計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	比率%
福 岡 市	813	947	1,525	1,971	1,783	1,952	1,212	830	699	631	668	796	13,827	75.7
福 岡 県 内	284	334	269	238	269	217	226	234	228	214	230	240	2,983	16.3
県 外	112	154	160	130	180	111	127	126	78	85	95	111	1,469	8.0
計	1,209	1,435	1,954	2,339	2,232	2,280	1,565	1,190	1,005	930	993	1,147	18,279	100

※開館(昭和57年2月)以降、入館者累計 112,632人

## (6) 博物館学実習

今年度はじめて博物館学実習を行った。これは、福岡市立歴史資料館が多数の実習生を受け入れねばならなくなったため、当センターが実習生の一部を引き受けることにしたからである。はじめての実習は下記のように実施した。

①実習生 5名(西南学院大学文学部学生4名・経済学部学生1名、いずれも4年生)

②実習期間 7月11日(土)～7月31日(金)の3週間

(12日・20日・27日は休み)

③実習内容 埋蔵文化財の収蔵作業(1日)、遺物収蔵カード作成(3日)、教育普及活動用資料・ポスター作成(4日)、保存処理作業(6日)、図書整理(3日)、展示室巡視(1日)

## 5. 調査研究

職員はそれぞれが担当する遺物の保存処理、教育普及活動に関する調査研究をすすめ、研修などに出席した。

このほかの調査研究・研修のおもなものは次のとおり。

### (1) 埋蔵文化財資料の整理作業研修

昭和61年度に策定した『埋蔵文化財資料の整理・収蔵要項』にもとづく整理・収蔵作業をすすめるため、埋蔵文化財課職員および各現場の整理作業員(臨時職員)を対象に研修会を4回実施した。各種台帳・カードの記入の仕方を習得し、それら相互の関係などを理解するための実際的研修であるとともに、整理・収蔵作業の基本について共通の認識を得ることを目的とした。

4月24日、5月11日、5月27日、5月28日に行い、職員17名・整理作業員74名が参加した。

### (2) コンピューター導入の検討

収蔵資料の管理・検索および一般への情報サービスを向上させるためコンピューター導入を検討した。文化財主事はその任に当たり、『埋蔵文化財資料の整理・収蔵要項』にもとづく作成された各種台帳・カード・検索台帳のデータをコンピューターに入力し利用するための諸問題の検討をすすめた。

いっぽう本年度12月から、福岡市美術館・博物館準備室とともに、コンピューター導入計画について月に一度程度の共同資料収集や研究会をおこなった。しかし、各施設が扱う資料の性格や情報量に差異があり、またコンピューター利用方法についての検討が深められなかったこともあって、具体的な計画案作成に至らなかった。この共同研究は次年度以降も継続する予定である。

## 図 書

62年度の入入れ図書は下記のとおり。

購入 276冊(一般107冊、雑誌169冊)

寄贈1,171冊(一般1,114冊、雑誌57冊)

合計1,447冊

63年3月31日現在の蔵書数は下記のとおり。

一般6,871冊、雑誌2,476冊、合計9,346冊

(うち購入4,275冊、寄贈5,071冊)

定期購入(一部寄贈も含む)している雑誌は下記の35種。

〈国内発行〉

えとのす・貝塚・信濃・季刊考古学・季刊人類学・

九州考古学・月刊考古学ジャーナル・月刊文化財発掘出土情報・考古学研究・考古学雑誌・古史春秋・古代を考える・古代文化・古文化談叢・博物館研究・福岡考古・東アジアの古代文化・物質文化・文化庁月報・ふるさとの自然と歴史・文明のクロスロードMuseum Kyushu

〈国外発行〉

(韓国)韓国考古学報・韓国考古学年報・百済研究・百済文化・文化財

(中国)考古・考古学報・考古学集刊・中原文物・内蒙古文物考古・農業考古・考古与文物・文博・文物

### 昭和62年度予算

歳入

(単位千円)

事 項	金 額	摘 要
国庫支出金	1,000	出土遺物保存処理事業に対する補助金
県支出金	500	〃
諸収入	13	雇用保険料収入他
合 計	1,513	

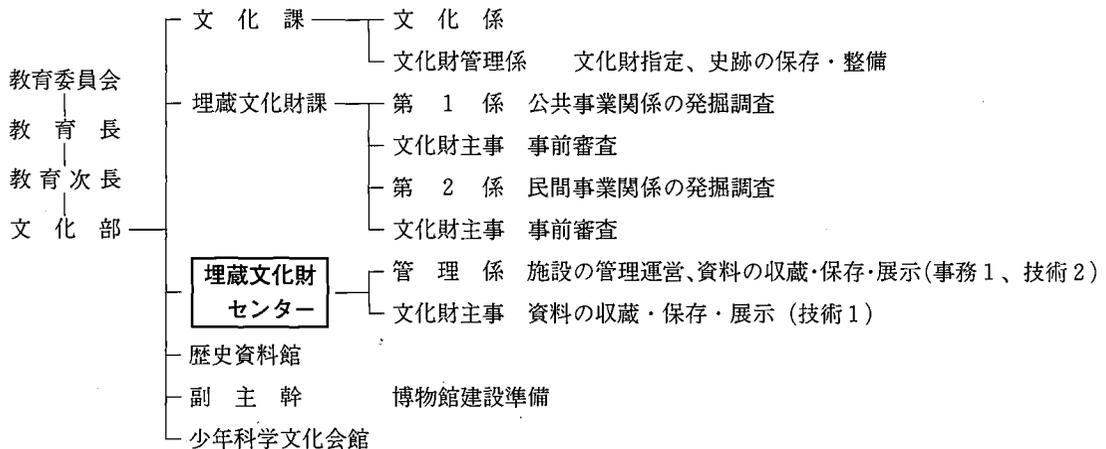
歳出

(単位千円)

事 項	金 額	摘 要	
運管 費理			
一 般 管 理 費	2,328	一般事務経費	
施 設 管 理 費	25,768	光熱水費、施設管理の一部委託、保守点検委託等	
事 業 費	調 査 研 究 費	3,132	参考図書購入、調査資料整理補助資金等
	資 料 分 類 整 理 費	1,311	資料整理用品購入等
	教 育 普 及 活 動 費	1,135	年報等印刷、講座の実施
	資 料 保 存 整 備 費	1,405	資料保存用消耗品購入等
	出 土 遺 物 保 存 処 理 費	2,000	遺物保存処理経費
設 備 整 備 費	7,000	収蔵室等の設備整備	
合 計	44,079		

### 機 構 と 職 員

(1)福岡市埋蔵文化財行政の組織



(2)埋蔵文化財センター職員(62年度)

職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
所 長	後 藤 直	技術吏員	係 員	井 沢 洋 一	技術吏員
管理係長	荒 川 芳 弘	事務吏員	係 員	浜 石 哲 也	技術吏員
文化財主事	柳 沢 一 男	技術吏員	嘱 託	齊 藤 賢	

## 施設と規模

敷地面積……4,000㎡

延床面積……3,986㎡

### 1 階 1,796㎡

収 蔵 庫	788㎡
荷 解 ・ 搬 入 室	144㎡
木 器 保 存 処 理 室	40㎡
金 属 器 保 存 処 理 室	61㎡
事 務 室	66㎡
警 備 員 室	9㎡
第 1 展 示 室	167㎡
第 2 展 示 室	127㎡
図 書 閱 覧 休 憩 室	39㎡
エントランス・ホール	84㎡
機 械 室	129㎡
そ の 他	142㎡

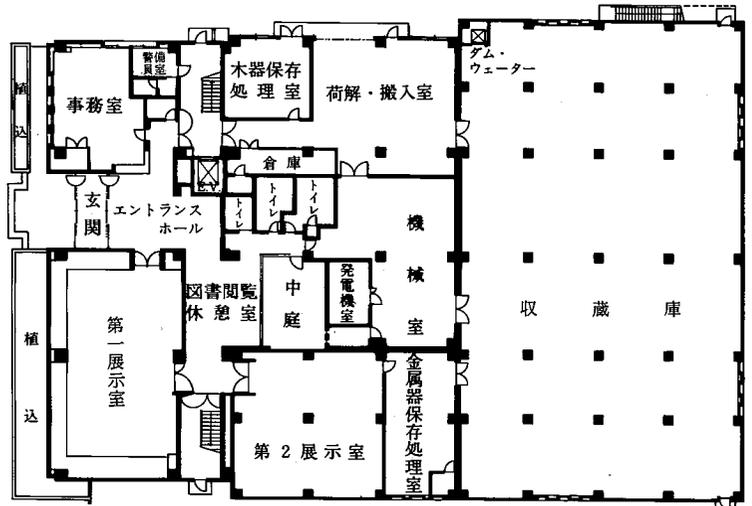
### 2 階 1,736㎡

収 蔵 庫	1,325㎡
資 料 整 理 室 (1)	58㎡
写 場 ・ 暗 室	63㎡
講 座 室	140㎡
そ の 他	150㎡

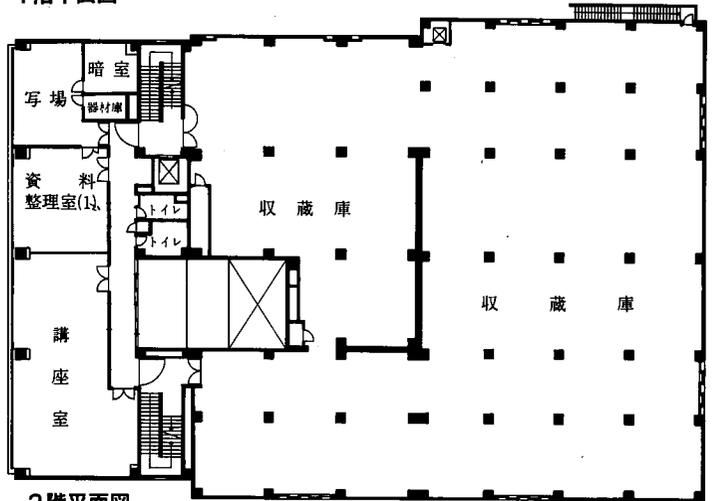
### 3 階 415㎡

特 別 収 蔵 庫	52㎡
記 録 類 収 蔵 室 (1)	48㎡
記 録 類 収 蔵 室 (2)	37㎡
資 料 整 理 室 (2)	73㎡
図 書 室	77㎡
そ の 他	128㎡

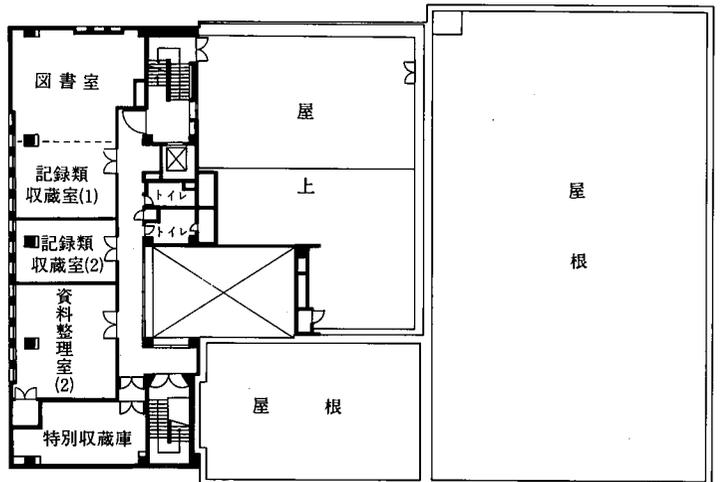
屋 上	
エレベーター機械室	39㎡



1階平面図



2階平面図



3階平面図

## 福岡市埋蔵文化財センター条例

(昭和56年12月21日  
条例第66号)

(設置)

**第1条** 発掘調査等で出土した考古学的資料(以下「資料」という。)の保存と活用を図り、もって市民文化の向上に資するため、福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)を福岡市博多区井相田二丁目に設置する。

(事業)

**第2条** センターは、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 資料の収集、整理及び保存に関すること。
- (2) 資料を展示し、公開すること。
- (3) 資料の専門的調査研究を行うこと。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、センターの設置の目的達成に必要なこと。

(職員)

**第3条** センターに所長その他必要な職員を置く。

(入館の制限)

**第4条** 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、入館を拒み、又は退去を命ずることができる。

- (1) センターの管理上必要な指示又は指導に従わない者
- (2) センターの管理上支障があると認められる者

(資料の貸出し)

**第5条** 教育、学術若しくは文化に関する機関若しくは団体又は学術研究のため特に資料を利用しようとする者は、教育委員会の認可を受けて資料の貸出しを受けることができる。

- 2 前項の貸出しは、資料の保管について安全が確保できると認められる場合に限り行うものとする。

(損害賠償)

**第6条** 資料の観覧者又は貸出しを受けた者が、その責めに帰すべき理由によりセンターの建物若しくは施設又は資料を破損し、又は汚損して本市に損害を与えたときは、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

**第7条** この条例に定めるもののほか、センターの管理に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して3月を越えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。

(昭和57年教規則第3号により  
昭和57年2月22日から施行)

## 福岡市埋蔵文化財センター条例施行規則

(昭和57年1月25日  
教育委員会規則第4号)

(趣旨)

**第1条** この規則は、福岡市埋蔵文化財センター条例(昭和56年福岡市条例第66号、以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

**第2条** 福岡市埋蔵文化財センター(以下「センター」という。)の事務を行うため、センターに管理係を置く。

(職員)

**第3条** センターに所長、係長、吏員その他の職員を置く。

- 2 前項の職員のほか、特定事務を担当させるため、センターに文化財主事を置くことができる。

3 所長、係長及び文化財主事は、吏員のうちから命ずる。

4 所長及び係長は、上司の命を受けてセンター又は係の事務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

5 文化財主事は、上司の命を受けて担当事務を処理する。

6 吏員その他の職員は、上司の命を受けて分担する事務を処理する。

(職務権限の代行)

**第4条** 所長に事故がある場合、又は所長が欠けた場合において、特に事務取扱者を命じないときは、係長がその係に属する事務について所長の職務権限を代理して行う。ただし、重要又は異例な事務につい

ては、文化部長の指揮を受けなければならない。

- 2 前項の規定により所長の職務権限を代理して行う者がいないときは、文化部長が行う。

(開館時間)

**第5条** センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長は、必要があると認める場合には、これは変更することができる。

(休館日)

**第6条** センターの休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長は、必要と認める場合には、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

- (1) 毎週月曜日
- (2) 12月28日から翌年1月4日まで

(入館者の心得)

**第7条** センターに入館する者は、次の各号に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 所定の場所以外の場所で飲食し、喫煙し、又は火気を使用しないこと。
- (2) 騒音を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 危険物又は動物を持ち込まないこと。

(4) 所定の場所以外に立ち入らないこと。

(5) 職員が行う管理上必要な指示又は指導に従うこと。

(貸出)

**第8条** 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しを受けようとする者は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書(様式第1号)を教育長に提出しなければならない。

2 条例第5条第1項の規定による資料の貸出しの許可は、福岡市埋蔵文化財センター資料貸出許可書(様式第2号)を交付して行う。

(寄贈等)

**第9条** センターに資料を寄贈し、又は寄託しようとする者は、教育委員会に申し出なければならない。

2 寄託を受けた資料の貸出しは、寄託者の承諾を得て行うものとする。

(委託)

**第10条** この規則の施行に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、昭和57年2月22日から施行する。

## 付 録

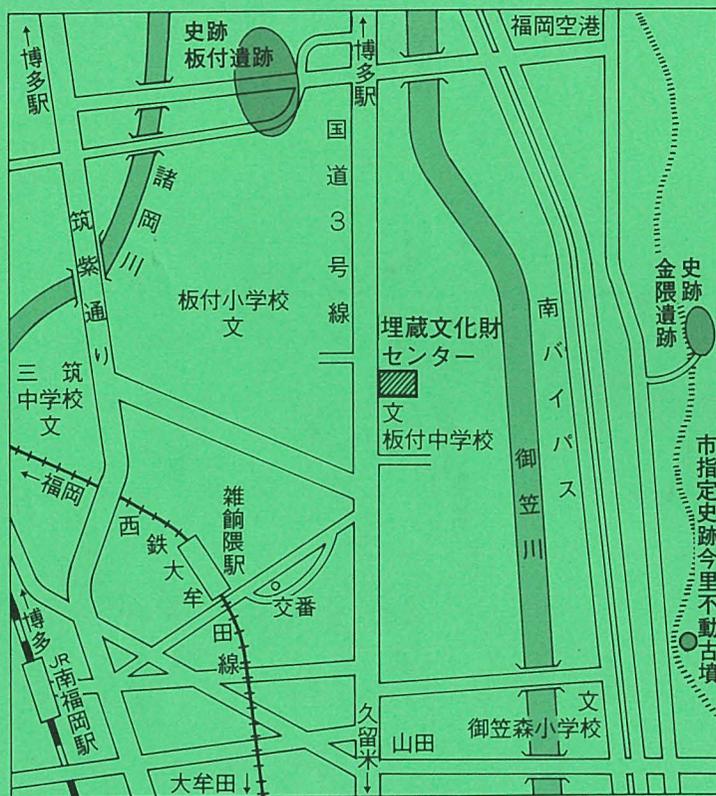
- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 昭和62(1987)年度刊行報告書一覧      |
| 2. 昭和62(1987)年度埋蔵文化財課発掘調査一覧 |

1. 昭和62(1987)年度刊行報告書一覧〔埋蔵文化財課〕	( )内は、報告された遺跡の調査番号
第173集 有田・小田部 第9集	(8007・8211・8212・8213・8512・8515・8611・8624・8657・8707)
第174集 比恵遺跡群(8)	(8616・8635・8637・8617・8636・8717)
第175集 井尻B遺跡	(8610)
第176集 博多遺跡群第33次調査	( <del>8611</del> )8618
第177集 博多遺跡群第35次調査	(8648)
第178集 重留遺跡一重留古墳群C-2号墳・重留古窯跡の調査一	(8704・8715)
第179集 井相田C遺跡Ⅱ	(8625)
第180集 羽根戸遺跡	(8526・8529)
第181集 南八幡遺跡	(8652)
第182集 立花寺古墳群	(8627)
第183集 博多一都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告Ⅰ一	(8224)
第184集 博多一都市計画道路博多駅築港線関係埋蔵文化財調査報告Ⅱ一	(8331)
第185集 長峰遺跡	(8642)
第186集 都地遺跡・金武城田遺跡	(8322・8344)
第187集 吉武遺跡群一野方金武線建設に伴う文化財の調査一	(8426)
第188集 羽根戸原C遺跡群Ⅲ	(8526)
第189集 戸原麦尾遺跡(1)	(8403)
第190集 柏原遺跡群V	(7951・8045・8152・8154・8345・8346・8347)
第191集 柏原遺跡群Ⅵ	(8346)
第192集 田村遺跡V	(8408)
第193集 高速鉄道関係埋蔵文化財調査報告Ⅶ一博多一高運鉄道関係調査(9)一	(7833・7835・7949・8037・8148・8149・8150・8342・8435)

調査番号	遺跡名	回数	地区・地点	遺跡略号	調査原因	調査種類	調査地所在地	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	調査担当者	報告書	分布地区	
8701	有田	119	C-2号墳	ART	専住建設	補	早良区南庄3丁目270-1外	203	870417-870519	山崎龍雄・米倉秀紀	178	081-A-3	
8702	高畑	13		TKB	共住建設	民補	博多区板付6丁目1-37外	480	870428-870605	杉山富雄		024-A-9	
8703	那珂	9		NAK	共住建設	民補	博多区竹下5丁目463	1,030	870425-870704	山口讓二・吉留秀敏		038-A-3	
8704	重留古墳群	3		STK-C	防災工事	民	早良区大字重留字後谷	古墳1基	870430-870525	横山邦継・瀧本正志		084-B-3	
8705	有田	120		ART	専住建設	補	早良区有田1丁目38-3外	77	870514-870521	山崎龍雄・米倉秀紀		081-A-3	
8706	有田	121		ART	専住建設	補	早良区小田部5丁目154-2	165	870520-870613	山崎龍雄・米倉秀紀		081-A-3	
8707	有田	122		ART	専住建設	補	早良区小田部2丁目11-16	375	870525-870626	山崎龍雄・米倉秀紀		173 082-A-1	
8708	野間古墳群	1		1号墳	NOB	共住建設	民	南区向野2丁目238外	古墳1基	870527-870630		力武卓治・常松幹雄	038-A-2
8709	湯納	9		YUN	倉庫建設	民	西区大字拾六町字コノリ528-4外	1,500	870518-870617	小林義彦		104-A-4	
8710	名切谷	1		NRD	区画整理	民	西区大字野方字名切谷	192	870612-870718	池崎讓二・加藤良彦		104	
8711	板付	H-809	ITS	共住建設	民補	博多区板付4丁目4-4	200	870622-870710	山口讓治・吉留秀敏	024-C-1			
8712	有田		123	ART	下水道建設	公	早良区有田1・2丁目、小田部2・3・4丁目	550	870501-880331	二宮忠司	082-A-1		
8713	有田		124	ART	共住建設	民補	早良区有田1丁目24-4	650	870623-870926	山崎龍雄・米倉秀紀	082-A-1		
8714	吉武		11	YST	道路建設	公	西区大字吉武	1,480	870601-870909	二宮忠司・佐藤一郎	093-A-12		
8715	重留窯跡		1	STY	防災工事	補	早良区大字重留字後谷	200	870526-870711	横山邦継・瀧本正志	178 084		
8716	浦田		2	URK	民有地道路建設	民	早良区大字重留字浦田	116	870629-870708	小林義彦	084-A-7		
8717	比恵		17	HIE	ビル建設	民	博多区博多駅南4丁目117-2外	405	870629-870728	山口讓治・吉留秀敏	174 037-A-1		
8718	有田		125	ART	共住建設	補	早良区小田部5丁目172外	722	870619-871009	山崎龍雄・米倉秀紀	082-A-1		
8719	西新町		4	NSJ	道路建設	公	早良区西新3丁目	600	870620-871000	松村道博	071-A-1		
8720	女原		3	MBR	道路建設	公	西区大字女原	8,000	870701-870710	松村道博・吉武 学	120		
8721	広石遺跡群	1	D	HRD	区画整理	民	西区大字野方	2,000	870629-871009	池崎讓二・加藤良彦・ 下村 智	104		
	広石古墳群	2	7群	HIK-7									
8722	脇山A	2	WKA	圍場整備	公補	早良区大字脇山	5,000	870804-871228	力武卓治・常松幹雄	早良10-A-1			
8723	四箇	22	SIK	老人福祉センター建設	公	早良区大字重留字満所1068-4	3,300	870731-871130	横山邦継・宮井善朗	084-A-2			
8724	有田	126	ART	専住建設	補	早良区小田部1丁目34-9	111	870804-870826	山崎龍雄・米倉秀紀	081-A-3			
8725	博多	36	HKT	ビル建設	民	博多区祇園町42外	332	870805-871015	山口讓治・吉留秀敏	049-A-1			
8726	鋤崎古墳群	1	A群	SKK-A	ゴルフ場建設	民	西区大字今宿青木鋤崎421-4外	古墳測量	870817-870902	小林義彦	112-B-4		
8727	那珂	10	NAK	倉庫建設	民	博多区竹下3丁目1-1	862	870817-871031	山口讓治・吉留秀敏	037-A-3			
8728	今宿五郎江	3	IZG	給油所建設	民補	西区大字今宿町字前田95-2外	900	870910-871126	小林義彦	112-A-5			
8729	有田	127	ART	共住建設	民補	早良区小田部1丁目418-1	180	870917-871009	山崎龍雄・米倉秀紀	081-A-3			

調査番号	遺跡名	回数	地区・地点	遺跡略号	調査番号	調査種類	調査地所在地	調査面積(m <sup>2</sup> )	調査期間	調査担当者	報告書	分布地図
8730	有田	128		ART	共住建設	民補	早良区南庄3丁目116	213	870928—871026	山崎龍雄		081-A-3
8731	野間古墳群	2	2号墳	NOB	宅地造成	民	南区向野2丁目237	古墳1基 300	871005—871031	力武卓治・常松幹雄		038-A-2
8732	那珂	11		NAK	倉庫建設	民	博多区竹下3丁目1—1	5	870926—871001	山口讓治・吉留秀敏		037-A-3
8733	那珂	12		NAK	倉庫建設	民	博多区竹下3丁目1—1	20	870926—871003	山口讓治・吉留秀敏		037-A-3
8734	広石古墳群	3	6群	HIK-6	区画整理	民	西区大字野方	10,200	870922—880331	池崎讓二・加藤良彦		104
	広石遺跡群	2	C	HRC						下村 智		
8735	有田	129		ART	店舗建設	民	早良区小田部2丁目38	386	871027—871126	山崎龍雄		082-A-1
8736	那珂	13		NAK	道路建設	公	博多区那珂2丁目	1,536	871104—880330	杉山富雄・小畑弘己		037-A-3
8737	板付		H-5b	ITS	小学校運動場建設	公	博多区板付2丁目10—13	120	871109—871112	田中寿夫・荒牧宏行		024-C-1
8738	野方古墳群	4	D群	NKK-D	区画整理	民	西区大字野方	古墳2基	871125—880331	下村 智・加藤良彦		105
8739	有田	130		ART	専住建設	補	早良区小田部2丁目185—2	293	871128—871226	山崎龍雄		082-A-1
8740	博多	37		HKT	ビル建設	民	博多区博多駅前1丁目129外	1,112	871204—880331	山口讓治・吉留秀敏		049-A-1
8741	丸隈山古墳	3		MKY	史跡整備	公	西区大字周船寺字ウヘノ	90	871211—880120	小林義彦		120-B-1
8742	有田	131		ART	専住建設	補	早良区小田部2丁目131	118	871216—880106	山崎龍雄		082-A-1
8743	峯	1		MIN	公園建設	公	早良区大字西1251—1外	2,145	871019—880129	佐藤一郎		早良17-A-3
8744	四箇	23		SIK	公園建設	公	早良区大字重留	1,900	871130—880331	松村道博・吉武 学		084-A-2
8745	(欠番)											
8746	羽根戸古墳群	3	N群	NHD-N	墓園建設	公	西区大字佛尾871—1外	古墳9基	871217—880330	横山邦継・宮井善朗		105-B-19
8747	鴻臚館	1		KRE	球場改修	公	中央区内	650	871225—880120	山崎純男・吉武 学		060-E-1
8748	入部	1		SHE	圃場整備	公補	早良区大字重留	15,000	880106—880331	力武卓治・常松幹雄		084-A-4
8749	有田	132		ART	専住建設	補	早良区有田1丁目8—3	142	880125—880303	山崎龍雄・小林義彦		082-A-1
8750	有田	133		ART	専住建設	補	早良区有田1丁目32—4	443	880126—880331	山崎龍雄・小林義彦		082-A-1
8751	広石古墳群	4	8群	HIK-8	河川改修	公	西区大字野方	200	880201—880331	山崎純男・田崎博之		104
8752	吉武	12		YST	水路建設	公補	西区大字吉武	1,000	880301—880331	力武卓治・常松幹雄		093-A-10
8753	有田	134		ART	共住建設	民補	早良区有田2丁目12—3・4	406	880301—880331	山崎龍雄・小林義彦		082-A-1
8754	有田	135		ART	専住建設	補	早良区小田部1丁目361	145	880307—880324	山崎龍雄・小林義彦		082-A-1

## 案内図



開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

年末年始 (12月28日~1月4日)

入館料 無料 (但し団体で見学される場合は、  
あらかじめご連絡ください。)

駐車場 乗用車13台、大型バス4台駐車可

■西鉄バス (行先番号40・41)

板付中学校前 (埋蔵文化財センター前) 下車

■西鉄大牟田線 大牟田線 雑餉隈駅雑餉隈から徒歩約14分

■JR鹿児島本線 南福岡駅から徒歩約25分

〒816 福岡市博多区井相田2-1-94 電話 092-571-2921